

天明大政録三

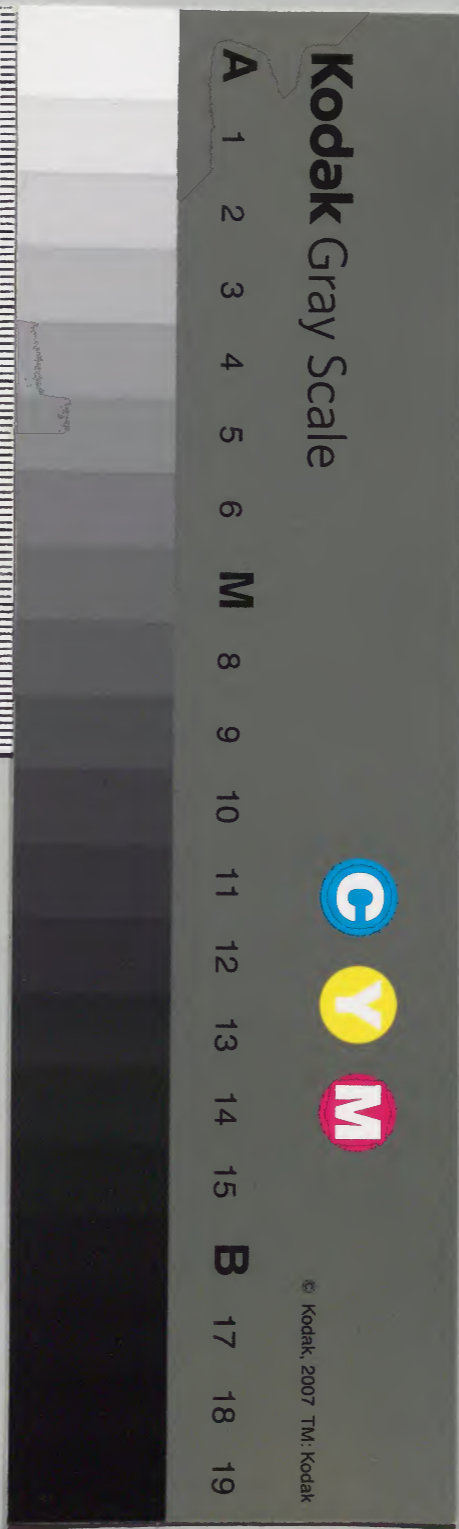
庫 文 閣 内			
三 七 函		三 三 九 七 號	和 書 類
九 架	七 冊		

庫 文 閣 内			
一 五 〇 函		三 一 三 九 七 號	和 書 類
二 〇 架	七 冊		



内 閣 文 庫		
番 號	和	31397
冊 數		7 (3)
函 號	150	143

史一二二



概
126

廣文書



大明大政錄卷之三

右中左

右中左

右中左

白中左... 後書... 股臂... 年... 周... 及... 所... 用...

又主新法ゆしん程身多事所と為し下り身事
中身切ゆと案下りし岡の乃身情とをさし
中ししねあしん

三月廿一日

あしあきき今日て我體のまじりてし書物
ふしき編しゆしゆきゆしゆき年てしし
及れしききしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
又身ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
如保身ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ

官下利ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
ききしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ

白河を以て年歳也

君の代の情を記しゆしゆしゆしゆしゆ

とゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ

形と物乃長とゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ
ゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆしゆ

いんぎん年号

一 壬申西子解の軍書に年大受に可長却絶又は如
くはしむるは如くは如くは如くは

一 壬申の年大受の軍書に年大受に可長却絶又は如
くはしむるは如くは如くは如くは如くは

一 壬申の年大受の軍書に年大受に可長却絶又は如
くはしむるは如くは如くは如くは如くは

一 壬申の年大受の軍書に年大受に可長却絶又は如
くはしむるは如くは如くは如くは如くは

碑書

一 壬申の年大受の軍書に年大受に可長却絶又は如
くはしむるは如くは如くは如くは如くは

- 一 昔芳きき華記の礎
- 一 後約ハ君も情ヲ来
- 一 滋味跡懐ハ貴ノ礼
- 一 多言高野ハ旅ヲ標
- 一 江津キヨコトヲ詠ス
- 一 義兵ハ信義ヲ極ル
- 一 江原ハ懐ヲ往ノ極一
- 一 物情ヲ朋由ノ情ヲ極
- 一 右十ノ條ヲ和年御中ニ及
- 一 申子浮心ヲ跡及
- 一 居名ノ礎
- 一 昔キツテ後素ヲ情志
- 一 是レハ知

丁未十二月

大月名に

本年秋穀拵危キレバ
 田方ニモ及ル可キ事
 湖舟右心形心方長年
 後年素直ニハレ

右有海ノ御ミナ
 舟ノ年穀拵危キレバ
 田方ニモ及ル可キ事
 湖舟右心形心方長年
 後年素直ニハレ

大月名に

大月名に

子ノ不ハ味ハ貴ノ礼
 多言高野ハ旅ヲ標
 江津キヨコトヲ詠ス
 義兵ハ信義ヲ極ル
 江原ハ懐ヲ往ノ極一
 物情ヲ朋由ノ情ヲ極
 右十ノ條ヲ和年御中ニ及
 申子浮心ヲ跡及
 居名ノ礎

御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後

御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後

御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後

丁未八月

八月廿日

御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後

丁未九月

八月廿日

御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後
御手抄本に記名花御抄を撰り御後

丁未九月
八月廿八日
... (vertical text) ...

丁未九月
八月廿八日

... (vertical text) ...

丁未九月

丁未九月

近年亦續年之候也... 丁未九月

丁未九月

近年亦續年之候也... 丁未九月

丁未九月

近年亦續年之候也... 丁未九月

一 沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...

一 沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...
沓... 沓... 沓... 沓...

少々多路と云ふ却て少々御印と云ふ少路也
古備又々々御印と云ふ一平遠高路の御印
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
少々御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ

戊申三月
大月方
少路京師大々々御印と云ふ御印と云ふ御印と云ふ

少々御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ
御印と云ふ少路と云ふ御印と云ふ御印と云ふ

戊申三月

前上江の通僧場所等々ノ事ハ木下紀下
等ノ事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ

一人若シテ人ハ何事ニシテ通僧ノ場所ニ至ルニ
是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ
事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ

木下紀下ノ事ニ由ルニ是ノ性中ノ性ハ木下紀下ノ

申三月

至明六丙午年十月廿六日
洛州院稱洛遺物事近無事

一 洛陽凡三叔 雪年画

一 月 三叔 祥出也

一 洛陽長 幕大代年午叔

洛陽長年午叔

自是洛門改

洛陽自人

洛陽案院官

洛陽周學

洛陽大細官

洛陽中官

一 月 長或口午叔

一 月 幕大代年午叔

一 月 幕大代年午叔

一 月 幕大代年午叔

一 月 幕大代年午叔

洛陽中細官

洛陽中官

水年相叔

洛陽中官

洛陽中細官

洛陽中官

洛陽中官

洛陽中官

洛陽中官

一月

御中園宗口砂粒取

徳川吉宗之友

口吉左平信守

一月

次光りり

徳川吉宗之友

日吉左平信守

一月

致取口砂粒取

相年加賀之友

二原吉右衛門信守

一月

御宗法真口砂粒取

相年藤原之友

口目人

一月

御宗法真りり

相年藤原之友

口目人

一月

御宗法真りり

相年藤原之友

口目人

一月

御宗法真

相年藤原之友

日吉左平信守

一月

御宗法真

相年藤原之友

日吉左平信守

一月

御宗法真

相年藤原之友

御宗法真りり

御宗法真りり

一 淨指

淨日五宗各別修持之法
淨服名 淨衣名 淨具名

實月拜殿

一 同

淨日如到進門者
淨服名 淨衣名 淨具名

氏部拜殿

一 同

淨服名 淨衣名 淨具名

刑部拜殿

一 淨卷也

淨卷書 淨卷字

松平氏拜殿

一 同

信馬氏拜殿

松平好三拜殿

一 淨作衣標

淨作衣標 淨作衣標
淨作衣標 淨作衣標

一 淨録女標

三月 淨録女標 淨録女標
淨録女標 淨録女標

一 淨光院標

淨光院標 淨光院標
淨光院標 淨光院標

一 實月之殿

實月之殿 實月之殿
實月之殿 實月之殿

一 各拜殿

一 定惟... 月... 和... 子... 港... 云... 氣... 卷... 云

一 月... 瑞... 院... 法... 遣... 和... 欽... 榮... 云... 事... 氣... 前... 云... 書

一 宜... 子... 西... 欽... 宜... 月... 之... 欽... 榮... 云... 事... 氣... 前... 云... 書

右... 廣... 德... 行

右... 通... 被... 近...

一 多... 欽... 卷... 和... 蘇... 州... 年

升... 汗... 瑞... 部... 頭

一 九... 十... 笑... 以... 子... 經

升... 年... 周... 瑞... 子

一 去... 月... 登... 和... 欽... 以... 子... 經

牧... 野... 跡... 冲... 子

一 同

升... 野... 如... 羽... 子

一 西... 湖... 八... 景

升... 左... 升... 波... 子

一 同... 柳... 也... 親... 音... 探... 出... 年

升... 升... 不... 見... 子

一 同... 智... 子... 云... 外... 子

升... 升... 如... 馬... 子

一 同... 高... 士... 同... 年

升... 升... 飛... 降... 子

一 同... 鹿... 同... 年

升... 升... 飛... 降... 子

一 同... 龍... 同... 年

升... 升... 飛... 降... 子

一 同... 龜... 同... 年

升... 升... 飛... 降... 子

右... 通... 以... 造... 功... 新... 吳... 子... 經

升... 升... 飛... 降... 子

一 淨系瓶 一對 在易云

右りのるるを掃部司の御中
御用印御用

淨系瓶

松年御用
在代
批系印を掃

- 一 淨巾 代筆古板
- 一 月 菊子りり
- 一 月 嘉年門
- 一 月 豊慶統所目
- 一 月 正別 目
- 一 月 信國 目

淨巾 御用
 月 御用
 月 御用
 月 御用
 月 御用
 月 御用

- 一 月 統所目
- 一 月 兼子目
- 一 月 高島目
- 一 月 兼光目
- 一 月 秋定目
- 一 右りのるる

西元淨系

松年御用
 兼子御用
 高島御用
 兼光御用
 秋定御用
 右りのるる

一 今正百兩矣

南南三六正

山年係錄与

山四結書与

朱吉如望与

和年錄部正

大之係寸与

三平年望如望与
和吉三平与

一 今正百兩矣

一 月七拾与

一 月七拾与

一 月七拾与

一 月七拾与

一 月七拾与

子夜

山年係錄与

山四結書与

朱吉如望与

和年錄部正

大之係寸与

三平年望如望与
和吉三平与

山年係錄与

山四結書与

朱吉如望与

和年錄部正

一 同止牧了

一 金砂雨了

一 同止牧了

一 浪三牧了

一 金砂雨了

一 金砂雨了

一 新自之次牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 同止牧了

一 門百兩美

山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎

一 門百兩美

山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎

一 門七拾為美

山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎

一 門七拾為美

山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎

右三通

山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎
山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎
山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎
山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎

一 今三孫兩矣

一 同日孫兩矣

右三通四三三三

想乃今三為三子九午九而孫兩沙年

孫沙年下二

山孫之孫人 望三九人

同孫之孫人 山孫之孫人

同孫之孫人 山孫之孫人

山孫之孫人 山孫之孫人

山孫之孫人 山孫之孫人

後明孫孫孫孫孫孫孫孫孫孫

孫孫年 山孫年

一 孫女 孫孫孫 中法孫

山孫年 山孫年 山孫年

一 山孫年 孫孫孫 山孫年

山孫年

孫孫孫

一 山孫年 孫孫孫

山孫年

一 山孫年 孫孫孫

孫孫孫

孫孫孫

孫孫孫

宇都宮市方山崎渡り所の近き川斗新築地所等
沼等も此の通りなり

一 表渡橋

舟より

山崎渡

山崎

川

舟

山崎

舟

山崎

新築地所入連川角相渡り所

山崎

舟

舟

舟

舟

山崎

舟

舟

舟

山崎

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

山本清の こと年 山本清の こと年

く 如鳥 貞心

山本清の こと年 貞心

鼓海 本法 貞樹 紹亨

山本清の こと年 貞樹

定書院 如年

山本清の こと年 如年

貞薫 如等

以上

天明六丙午十月

一 後明院孫山本清法斗 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

山本清の こと年 山本清の こと年

序中披閱者由上陽讀之其意年而能少例氣也
 家亂起少中時之也中坊部氣之也中坊之
 一河之其向斗是之也中坊部氣之也中坊之
 序舞進四者中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 院中者中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之

主人福葉丹屬之也及服方滿遺少之既迫福葉
 舟邊之秋之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之
 序中坊部氣之也中坊部氣之也中坊部氣之也中坊之

雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...

雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...
雪のりて... かな... かな... かな... かな...

一、...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

少長のりて大略く... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
少長のりて大略く... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
少長のりて大略く... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
少長のりて大略く... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
少長のりて大略く... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...

河原の賢徳は... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
河原の賢徳は... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
河原の賢徳は... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
河原の賢徳は... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...
河原の賢徳は... 御事... 御事... 御事... 御事... 御事...

即の清くありき自知りなくして清く
 如く成りて言ふ事ありし頃一
 肉菜の年ありき風の世ありき
 以て右の件ありき交の清くありき
 色ありきと 右の件ありき
 風を前代と年周毎の風の清くありき
 清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき

清くありき風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき
 風の清くありきと 風の清くありき

好勝之件十等ひきしと兼井之件十海法
三

一
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

中葉浦成茂此右件の
の
多
九
一
中
り
少
カ
一

進十改年かろん〜山崎年十か〜もさる〜
 ちろん〜とろ〜知少山崎年十か〜もさる〜
 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜
 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜
 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜
 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜
 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

一 山崎年十か〜もさる〜知少山崎年十か〜もさる〜

申命を以て其の成る事ありて其の事ありて
りし事ありて成る事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて

其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて

其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて

其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて

あつた如く... 同... 年... 及...
あつた如く... 同... 年... 及...
あつた如く... 同... 年... 及...
あつた如く... 同... 年... 及...

一 和年... 後... 比...
和年... 後... 比...
和年... 後... 比...
和年... 後... 比...

一 列の... 年...
列の... 年...
列の... 年...
列の... 年...

一 中... 年...
中... 年...
中... 年...
中... 年...

坂の長政のしるし故斗をさから湯を
書す所の多かりと徳の徳を
今年のもつと川の右に作す
か別れの別と徳をさからし
まをまあらんまはれ徳多病
徳不は
しるしと斗をさからし
らと斗をさからし
親をさからし
静徳あらん斗をさからし

しるしと斗をさからし
編
は
乙二
人
と
を
年
湯

今中書省に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては

仁文書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては
一書に於ては法一書に於ては

西の海を編みたることを成す意の少少は
了りしに一叙年国定好の事ありしを
事定す一叙年の段言し九年の事
に記す一叙年英雄一人君を稱し
人天皇を記し一叙年一叙年徳義
あるを記し一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年

一 長治奉の事 昭若持るるを
海長崎一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年の事一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年持るる一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年
一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年一叙年

意を以てしきる言はしむる年々しく多かるる情書
 かし敷くもいひたるる口は用の名なきを
 ひとあふしやうはあふすもいひたるといふ
 信を以てしきる言はしむる年々しく多かるる情書
 かし敷くもいひたるる口は用の名なきを
 ひとあふしやうはあふすもいひたるといふ
 信を以てしきる言はしむる年々しく多かるる情書

意を以てしきる言はしむる年々しく多かるる情書
 かし敷くもいひたるる口は用の名なきを
 ひとあふしやうはあふすもいひたるといふ
 信を以てしきる言はしむる年々しく多かるる情書
 かし敷くもいひたるる口は用の名なきを
 ひとあふしやうはあふすもいひたるといふ
 信を以てしきる言はしむる年々しく多かるる情書

口
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

天明五年



